

研究課題名：

魚類のサルモネラ汚染状況調査ならびに遺伝学的手法を用いた汚染原因の探索

研究の目的と方法：

サルモネラはヒトの胃腸炎や下痢を引き起こす食中毒細菌として知られています。日本国内でのサルモネラ食中毒の発生件数は減少傾向にありますが、サルモネラは大規模な食中毒を引き起こす可能性があるため現在においても重要な食中毒細菌と考えられています。

現在、北海道立衛生研究所では魚介類が関与した食中毒事例で分離されたサルモネラおよび魚介類の関与事例とは疫学的関連性のないサルモネラ（散发事例の患者株、健康保菌株など）をそれぞれゲノム解析し、菌株間の関連性を明らかにすることを目指しています。

本研究の成果は、水産食品に関する食品衛生意識の向上や消費者の食中毒予防につながると期待されます。得られた研究の成果を報告書、学術雑誌、学会などへの発表に使用する場合ありますが、お名前や生年月日など個人が特定できるような情報が公開されることは一切ありません。また、対象となる方への不利益や介入もありません。

北海道に住む皆様の安全・安心に寄与できるよう、私ども北海道立衛生研究所が主体となって食中毒対策に取り組んでまいりますので、何とぞご理解を賜りますようお願い申し上げます。

研究の対象者及び対象期間：

2024年3月31日の研究終了までに、保健所、医療機関、研究機関などから北海道立衛生研究所に分与された菌株、もしくは、北海道立衛生研究所において食中毒検査など行政検査等で分離した菌株を研究対象とします。そのため、これらの菌株が分離された方が対象者となります。

研究に利用する試料・情報：

既に分離・同定されている菌株を用います。個人の特定に繋がらない形で年齢、性別、疫学情報（地域、原因食品、喫食歴など）、診療情報（発症日、試料採取日、臨床症状、臨床経過、基礎疾患の有無など）を解析に用います。

研究機関：

北海道立衛生研究所

試料・情報の管理について責任を有する者：

試料の管理：感染症部	細菌グループ	研究職員	落合 崇浩
情報の管理：感染症部	細菌グループ	研究職員	落合 崇浩

利益相反について：

本研究に関連し、開示すべき利益相反状態にある企業等はありません。

お問い合わせ先：

北海道立衛生研究所

落合 崇浩

〒060-0819 北海道札幌市北区北 19 条西 12 丁目

TEL：011-747-2763 FAX：011-737-9476